

# ライダーズ・イン・ザ・スカイ 第100号

新潟県央工業高校（旧三条工高）山岳部OB会発行 2023. 6. 1

## 1 今年も **山の宿・雲天** で **7月30日（日）** に開催します！ 巻機山山麓の散策と親睦そばパーティー

9:00 散策希望者は雲天前に集合

山麓を自由散策

12:30 雲天1階に集合・総会

13:00 親睦そばパーティー

15:00 解散

会費 3,000 円（そば代+現役そば代カンパ）

※前泊・後泊希望者は各自で雲天に予約してください。

山の宿 雲天 南魚沼市清水 674-348

電話 025-782-3473

申し込み：出席の有無を 7月14日（金）まで、いずれかの方法で連絡してください。

①同封のハガキ ②OB会グループLINE



昨年のOB会の様子

### 部創設 60 周年記念・ライダーズ発行 100 号記念の総会です

OB会会長 廣瀬 守彦（H07 年卒）

新潟県央工業高校山岳部が今年記念すべき創部 60 周年を迎えました。これもひとえに、皆様の暖かいご指導、ご支援の賜と心より感謝いたしております。

また、1972(S47)年にOB会に集まろうと「三工山岳部OB会だより」を発行し、同年に「ライダーズ・イン・ザ・スカイ」と名前をつけて発行を始めてから、今回が 100 号となりました。

60 年の歴史と伝統を胸に刻みながら、新潟県央工業高校山岳部とOB会のますますの発展のために、これからもOB会員同士の絆や親交を深めていきましょう。

雲天でお待ちしています。

## 2 役員は以下のとおりです

会 長	廣瀬守彦（H07）	事務局住所・返信受け取り、総会担当
事務局長	川村浩貴（H19）	総会担当
次 長	吉田光二（S46）	ライダーズ作成・発送・会計担当
顧 問	斎藤 勲（S41）	アドバイザー

## 3 OB会会計報告（2022年9月～2023年5月）※総会が早いので未執行が多い

収 入		支 出		
費 目	金 額	費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	390,853	通信費	47,494	送料・葉書他
入会金	500	運営費	1,500	消耗品・HP 運営他
総会残金	0	総会費	0	
預金利息	2	現役助成	0	
		慶弔費	0	
収入合計	391,355	支出合計	48,994	
		収支残高	342,361 円	次年度へ

繰越金の内訳：普通預金 342,361 円

## 4 創部 60 周年 部創設の頃から

1 回生（昭和 41 年卒） 齋藤 勲

私たち 1 回生の入学時（60 年前の 1963 年 4 月）に山岳部が他の部活動と共に発足した。当時、まだ現在の地に校舎は出来ていず、本校の前身である三条実業高校の校舎に間借りしていた。山岳部の活動も実業高校の先輩から指導を受けた。当時、私達を根気よく鍛えてくれた実高 2 年生の霜鳥さんは体力も知識もあり、山に対する考えにも優れ、指導を受けながら自分達は足元にも及ばないと思っていた。装備も実高や秀峰山岳会の借り物で 10 月に生徒会の予算がつき秀峰山岳会会長の望月氏からアドバイスを受けながら装備を揃えた。

初めての山行は粟ヶ岳日帰り、その後粟ヶ岳、守門岳への幕営山行をする。60 年前の大昔のことだ。交通手段はバス利用である。粟ヶ岳は八木前から、守門岳は栃堀から大きなキスリング・ザックを背負って幕营地まで歩いた。切なかったがこの苦行が私達を鍛えたと思っている。

1 年の時の夏山合宿は大島先生引率により 5 名で苗場山へ。山頂で一泊。2000m の山岳の自然の大きさに感動した。

10 月に現在の校舎に移転した。今まで熱心に指導してくれた霜鳥先輩の元を離れ、何もかも 1 年生だけで考えてやらなければならない。雨の降らない日は、学校から走って鱈田の踏切を渡り本成寺へ行き、腕立て伏せ、腹筋、そして境内をうさぎ跳びで何回か往復した。（当時はうさぎ跳びが下半身を痛めることが常識化しておらず、どの運動部もやっていた）

春山合宿は守門岳へ。万太郎山頂のテントまで保久礼から迎えに来られた高橋先生に水とまちがえ石油を飲ませてしまったのは大変申し訳ない思い出である。

2 年の夏山合宿は、白馬大雪溪から白馬岳を経て朝日岳へ縦走。3 年の時は飯豊連峰全山縦走。それぞれの山岳の大きさ、山並みと動植物などの自然の多彩さを味わった。

3 年の時に、私が国体に、金子徳蔵がインターハイに出場したが、本人の実力評価よりも新設校山岳部の将来に期待した面が大きかったのだろうと思っている。

当時から 60 年経った。登山に対しては、ひ弱だった自分が卒業後、何回かトラブルに遇ったもののなんとか生きながらえてきた。75 歳の現在も近郊の山を登っていられるのも今までかかわってきた周囲の方たちのおかげである。在学時、人間味あふれる指導をして下さった大島先生、今泉先生、高橋先生、秀峰・望月会長はすでに亡くなられ、山での知人、友人、先輩、先人の方々も亡くなられた方、登山から身を引かれた方も多し。自分たちに与えられた登山人生は思っているほど長くはない。

高橋先生は登山道からそれて山の斜面を登り、あっという間に晩酌用のウドを見つけてくる野人の一面と、何年かの間、俳句の投句を続けられた文人の一面がある。奥様も大切にされていた。改めて、教えられたこと、言われたことを思い出し心に刻む日々である。

私自身は卒業後、地元の山岳会に入り谷川岳、劔岳、穂高岳、北岳などの岩登り、50 代後半からの劔岳早月尾根日帰り山行 5 回、6000m 峰 2 峰登頂を含むネパール行 6 回と退職後は実力不相応のような山に親しんできた。あの頃の体力もすでに落ちてきた。そろそろ潮時である。登られるうちは弥彦山を事故なく登り老残の人生をまとめたいと思っている。

OB 諸氏、在校現役部員の皆様には、人生の中の割かれる何割かを使って、自然の素晴らしさ、多彩さを味わい尽くしてほしい。それには最低限の体力、技術、知識が必要である。経験を積みながら食欲に身に着けて欲しい。きっと今までにない大きな満足が得られることと思う。今後、より良い登山人生が展開してゆくことを祈っています。

## 5 100 号記念 ライダース・イン・ザ・スカイのはじまり

以下は、1972(S47)年に「三工山岳部OB会だより」を発行した時に顧問だった高橋小一郎先生の寄稿です。

同年発行のライダース・イン・ザ・スカイ No.1 に先駆けて「三工山岳部OB会だより」を 3 回発行し、その年のOB会で名称を部歌の題名「ライダース・イン・ザ・スカイ」と決めて発行し、今日に至ります。（詳細はホームページに収録しています。）

その後、時代の流れに合わせ、メール版（現在は廃止）、OB会HP「掲示板」、LINE 通信と発信してきましたが、その中心は全員に郵送する「ライダース・イン・ザ・スカイ」でした。（吉田光二）

## OB会の会報発行にあたって

高橋小一郎

時間的にはウンとゆとりのある学校という共同生活の場から、時間的に縛られる職業生活に入り、しかも家郷を離れ不自由な独身生活者の多いOB諸君にとっては、心ならずも日々の生活に追われ、山を想い人恋しいといっても、おいそれとはいかないのが現実でしょう。

去る者は日々に疎し

心ならずも疎遠を続けている中にお互いの生活も時の流れに流され、かつて文字通り寝食を共にした山仲間といっても、2・3年も会わないと何かお互い変わってしまったようで、なんてことになりかねない。

情報過多といわれている現代、本当に必要な情報は押し流され追いやられてしまう。仲間のことをお互いに気にしながらも様子が知れず、つつい疎遠になりがちである。年一度のOB・現役交歓山行で、トンネルを越えて来る側の集まりがよくないのは、連絡がよくとれずお互い様子が判らず夜遅くポツンと一人で参加するといった頼りなさも原因してはいないだろうか。夜汽車で駅に降りるとそこに懐かしい仲間がいるということになれば、心うきうき集まるのではなからうか。

OB会の会報を出そうという話があり、お互いの心を結び合うよすがとなればと、発行を続けることの大変さを二の次にして大賛成をして協力を約束した。誰々が可愛いカアチャンを貰った、誰かが双子を授かった、誰かがこの夏剣へ行った、在京組の忘年会は盛大であった、現役の活動振りは等々・・・仲間の身辺の様子が知ればよいと思う。部報とは違い社会人仲間の会報であるから、くだけた楽しいもの、読みたくなるものを期待したい。〇〇の呑屋は安くてうまい、美人が酌をしてくれるとか、今年のダービーの穴情報は固いから3-7を買えとか、△△の宿は家族的に待遇してくれるとか、××では尺級の岩魚がワンサとか・・・考えただけでも楽しいではないか。

今夏、庭球のOB会の結成に招かれ炎天のコートで久し振りにコムラがけいれんする程楽しんでタイトルを握らせて貰い、うまいビールを呑むことが出来たが、年一回集まってタイトルを争うとのことで、来年のその日を楽しみにしている。コートに出れば何も忘れて球を打つ。

年に一度山に集まれば何も忘れて昔に帰れる。OB会のいいところである。

会報の発行を続けることは大変な事業であろうが、受け継がれて永く続くことを期待します。それにつけても編集者の立場になるとニュースが集まらないのが一番困るかと思います。会員諸君のバックアップを願って置きます。(昭和47年)

## 6 OBアンケートの集計

いま、年間に何回ぐらい登山をしているか？

0～10回	47
11～20回	2
21～30回以上	9

入っている	25
OB会のあり方については？	
今のまま	39
登山を計画する	4

100号を迎える会報「ライダース」は？

よく読む	24
パラパラと	27
あまり読まない	8

その他意見

- ・衆知を集め若い力も入れ長く存続していつてもらいたい
- ・山から離れているので敷居が高い
- ・年なので思うように体が動かないができれば山に登りたい
- ・過去より未来に向けて何かを
- ・時々飲み会があっても良いかと思えます
- ・現役部員を交えてテント泊、座談会等をやってみても
- ・回答無し 8

OB会のHPは見ていますか？

見ている	7
たまに見る	21
あまり見ない	28

OB会のグループLINEがありますが…

入っていない	33
--------	----

在部中で一番印象に残っている山行・合宿は？

飯豊連峰6 巻機山6 朝日連峰5 守門岳3 立山3 栗ヶ岳3 剣岳2 立山・剣2 槍ヶ岳2  
白馬岳2 平標山2 八ヶ岳2 白山2 飯豊・守門1 後立山連峰1 谷川岳1 南アルプス1  
北岳・甲斐駒ヶ岳1 奥穂高岳1 蝶ヶ岳・常念岳1 石小屋沢1 光明山1 尾瀬1 苗場山1

北アルプス1 夏山合宿3 春山合宿1 新人歓迎登山1

※一年生での合宿の山が多く、強烈な印象として残っていることが感じられる。

いま、いちばん登ってみたい山は？

富士山3 剣岳3 屋久島の山々(宮之浦岳)2 粟ヶ岳2 弥彦山2 巻機山2 八海山2 火打山1 苗場山1 赤岳1 飯豊連峰1 穂高岳1 鳥海山2 五頭山1 白馬岳1 ネパール(6千m峰)1 南アルプス1 燧ヶ岳1 光明山1 雲ノ平1 平標山1 宝蔵山1 会津駒ヶ岳1 利尻山1 野口五郎岳1 大雪山1 山毛櫨ヶ平山1 蔵王1 八海山1

※それぞれの登山指向だからばらつくのは当然で、いろんなことを考え、いろんなことに挑戦していることが分かる。

### アンケートに書かれていた近況や最近登った山を紹介します(順不同)

H17年卒 斎藤圭太

群馬県に転居予定ですが、仕事の引継ぎが終わらず、まだ新潟におります。

S61年卒 牛腸英弘

S61年卒遠藤もよろしくお伝えくださいとのことです。

H07年卒 廣瀬守彦

3月上旬に久しぶりに北海道へ行き「余市岳」へBCスキーに行ってきました。本州とは違う雪質とスケールに圧倒されました。

S42年卒 志田俊雄

4月に後期高齢者の仲間入りです。ここ数年、登山らしい登山はしていません。非常勤ですがいまだに仕事。登山できる体系ではありませんので卒業となりました。旅行と好々爺の昨今です。

S42年卒 小林俊郎

今年から後期高齢者。近くの日帰り温泉、秘湯巡りを楽しんでいます。たまに競馬も…

S45年卒 長谷川一良

護摩堂山、孫とキャンプ(テント、炊事、焚火)。

S41年卒 岡部 稔

檜原湖で裏磐梯を見ながらワカサギ釣りをしました。4時間余りかけましたが「ポーズ」でした。楽しかった。

S60年卒 鈴木孝一

吉田先生、事務局の方々、いつもありがとうございます。

H26年卒 名前なし

弥彦山、角田山に隔週行っています。

S44年卒 田中 実

山から離れてしまっているので敷居が高いです。

S49年卒 熊谷善和

OB会には何も協力できないでいますが、毎回「ライダーズ」を楽しみにしています。皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

H25年卒 藤田一馬

最近はめっきり登山しなくなりましたが、昨年は日本一標高の低い山の日和山(宮城県)に行ってきました。

H19年卒 大山和俊

2023年1月に結婚いたしました。登山回数は激減しますが、時間を確保してOB会は出席したいと考えております。

S44年卒 永井良文

2年前心臓手術をして、今、山は無理。5年前から行っていない。最後が三国山。その前が谷川岳。

S45年卒 市川正和

昨年3月に仕事がアルバイト契約となり、時間がとれるように今年からなりそうです。サラリーマンの時は多忙で山には中々行けなかったが、これからは少し時間がとれそうです。

S57年卒 岩澤哲也

今年1月に独立開業しました。

S41年卒 斎藤 勲

昨年8月、病に倒れ寝たきりになった老母は病院のリハビリや看護の効果か、PC面会での反応がわずかに良くなったような気がする。長生きしてほしいと思う。私自身、しばらくは週1回の弥彦山登山で体力の維持に努めたい。

H26年卒 高井裕也

昨年、ゴロー(山靴)のソールを張り替えました。10年以上経ちますが今でも現役です。

S43年卒 鈴木泰正

家の都合で最近では登っていません。

#### S43 年卒 渡辺五郎

昨夏に仕事を終え、今まで通り山歩き、山スキーを続けるため、週に1回以上家の前の山、標高差268m、心肺機能を維持する様、歩いています。

#### S46 年卒 小林幸夫

いつも連絡をいただき、真にありがとうございます。“ライダーズ100号”おめでとうございます。楽しみにしています。私は皆さんの様に山登りはできませんが、山は見るだけでも元気になります。ハイキング程度でも行きたいです。

#### H13 年卒 早川 潤

勤めている会社の株主が変わり、秋に弥彦山登山を行うことになるかもしれません。

#### S47 年卒 小出一雄

昨年から足の不調に悩まされています。最近右足の膝が痛くて運動も控えています。でも、体はまだ元気なのでもう少し仕事は続けていくつもりです。

#### H19 年卒 川村浩貴

昨年は栗ヶ岳に何度か登ったので、今年は守門岳に登ってみようと思います。

#### H23 年卒 大山清史

しばらく山登りをしていませんでしたが、最近友人に誘われたので、山に登るための体力を取り戻し中です。

#### H16 年卒 平田一也

今年、娘8才、長男6才、次男3才になります。家族で登山やキャンプが出来そうなのでやりたいです。

#### S54 年卒 阿部孝幸

3/4(土)安達太良山に行きましたが、ホワイトアウトで山頂は断念しました。岳温泉に入って帰りました。

#### S53 年卒 山田康裕

OB会、いつもありがとうございます。64才になり、YouTubeの山行動画で行った気になり楽しんでいます。「ライダーズ・イン・ザ・スカイ40周年記念号」を読み返しています。なつかしく、そして時の流れの早さを感じています。

#### S53 年卒 名前なし

元気です。なんとかやっています。皆様によろしく!!

#### H25 年卒 波塚崇宏

先月中旬にマイホームが着工し、7月中頃に完成する予定です。隔週で打ち合わせに行ったり、子供の用事で忙しい毎日をすごしています。今現在は山へ行けていませんが、子供が少し大きくなったら一緒に登るのが今の夢です。

#### HO4 年卒 石村 統

柏崎の八石山はよかったです。散歩にどうぞ～

#### S51 年卒 齋藤 誠

住所変更おねがいします。

#### S42 年卒 長谷川晴一

私事ですが、興味の範囲が拡散し、どれも中途半端になりがちです。なにかOB会のことで役に立てれば良いのですが、反省しています。

#### S44 年卒 桑原利夫

仕事柄(建築板金業)足場の上を何度も行ったり来たりで、休日は体を休めることが日常です。年も今年73才になり、あっちこっち体ガタがきています。山登りはよくテレビで見えています。

#### H25 年卒 福原拳太

ランニングの友人にレンコン畑の栽培の手伝いに誘われて、田んぼに浸って足腰が鍛えられています。

#### HO3 年卒 猪熊尚洋

まったく登っておりません。

#### H25 年卒 高橋将汰

2月末、ゴローに行き、現役時代の高1で初めて手にした登山靴、13年近く履いているゴローを張り替えました。最近では守門の大雪庇を見にゴローで歩きました。登山計画やニゴマン図を見るのが好きで、天気によっては山行プランを変えながら安全登山を楽しんでいます。雪山に登ると巻機山の小屋を思い出します。

#### S46 年卒 吉田光二

近年、里山登山に出かけています。一時間ほどで登れる良い山を紹介してください。

#### <メッセージ無しの返信者>

H26 年卒・土田 将  
H04 年卒・近藤秀峰  
H05 年卒・梨本繁治  
H27 年卒・平瀬拓海  
S41 年卒・金子徳蔵  
H27 年卒・星井 功  
H17 年卒・蝶間林誠  
S41 年卒・阿部 敏  
H19 年卒・名前なし  
H25 年卒・高橋晃浩

S58 年卒・名前なし  
H01 年卒・塩原 剛  
H11 年卒・佐藤大地  
H30 年卒・長谷川紘平  
S63 年卒・高山 光  
S30 年卒・名前なし  
H05 年卒・名前なし  
H03 年卒・松井英樹  
H02 年卒・名前なし  
H02 年卒・徳橋弘倫

—アンケートを実施しての感想—

ほぼ一方的に発信し続けて51年間が経過し、100号になりました。この間、「どのような気持ちで受け取ってくれていたのか」、「これからどうしたら良いか」などを知りたくてアンケートを実施することにしました。

普段、返信率が悪いのでどの程度の返信があるか不安でもありました。結果、返信率は予想の範囲内でしたが、これまで一度も返信や音信の無かった人たちからの返信に「元気だったんだ!」「読んでいてくれたんだ!」と小躍りしました。事務局の嬉しい瞬間でした。(吉田光二)

## 7 部の現状

1年生1人 2年生3人 3年生2人 顧問3人 (久住公彦・岡村 孝・渡辺知秀)

## 8 OB会ホームページ

右のQRコードを読み取るとHPに入ります。(もしくは新潟県央工業高校山岳部OB会で検索)  
掲示板を読むにはHPの「会員のひろば」から入り、下のIDとパスワードを入力すると入れます。  
今現在、投稿は1,371をカウントしています。会員名簿にもアクセスできます。

## 9 OB会グループLINEもあります

現在45名が登録してそれぞれが随時書き込んでいます。

—編集後記に替えて—

☆斎藤顧問の「部創設」の頃の原稿、個人的に1回生はどんなことがあったのか興味を惹く内容でした。35歳の自分から考えてみれば、60年前から部があったと思うと改めて歴史の長さを感じました。

(H19年卒・川村浩貴)

☆先日、ほぼ50年ぶりに加茂市の橋立に行ってきました。橋立は、栗ヶ岳での冬山合宿や春山合宿でBCを置いた場所で、昨年11月20日に亡くなったS49年卒の川村芳夫さんと思いの多い所です。病気の身でありながら車で登山口まで行ってきたと私に話していたので、追悼登山として、宇佐美先生と橋立でノンアルコールビールで献杯しました。50年経っても「山は変わらず」でした。近年、昔登った山を訪ねて、一緒に登った部員や顧問とのエピソードを思い出しています。

(S46年卒・吉田光二)

### 昭和49年卒 川村芳夫さん旅立つ

—昨年のOB会に酸素吸入しながら参加してくれた川村さんが逝去されました。以下は1回生斎藤勲顧問から寄せられた弔文です。

55年前の3月の夜、市の行事で8月に守門岳と一緒に登った中学3年生・川村芳夫君が拙宅を訪ねてきた。高校入学が決まったので、当時私が所属していた見附山岳会に入会させてくれと言ってきた。どこの高校に入ったのかと聞くと三条工業高校とのことだった。そうであれば、見附山岳会よりは高橋小一郎先生が顧問でおられる三条工業高校山岳部に入部した方がはるかに君のためになると説得した。その通りにしたようで、山岳部での嬉々とした活動ぶりを「部報」やHPで知ることになった。

就職してからは激務で苦勞が続き、登山もままならなかったようだったが、山恋の気持ちは途切れず持ち続けたようだ。拙宅にたまに来ると見附の跨線橋から燧ヶ岳が見えることや、通勤途上に見える山の話をしてくれた。

昨年の暮れに「アルパインカレンダー2022年版」を贈った。車で訪ねられる所は訪ねてみたいと言っていたが少しは回れたのだろうか。

生家の二階から純白の守門岳を飽かず眺めては心を躍らせていた少年・川村芳夫は天に召されて逝ってしまった。天国で待っておられる高橋小一郎先生と杯を重ねて旧交を温めてください。

ご冥福をお祈りいたします。

2022年11月26日 昭和41年卒 斎藤 勲(1回生)